

EDELWEISS

夏の記憶

EDELWEISS9月号が発行される頃には、子供たちはすっかりFerien夏休みから日常に戻り、大人もそれぞれ夏の記憶を辿っているという様子でしょうか。今年の夏、皆様はいかがお過ごしでしたか？ 日本への一時帰国や旅行、または家族とゆっくりした時間を満喫した方も多いのではないのでしょうか。

私事ですが、今年の夏は両親が初めてチューリッヒに遊びに来てくれました。母はもともと地元福島で山登りを趣味にしているのですが、来るからにはスイスの山も堪能したいとご所望で、登山は全くしたことのない私にチューリッヒの専門店で購入した登山靴まで買って来て「さあ、憧れのグリンデルワルトに行くぞ！」と相成りました。

私はスイスの山々が素晴らしいのはなんとなく知っていましたが、ハイキングや登山の面白みってなんなんだろうと思いつながら、今までその世界に触れる機会がありませんでした。ところが母に連れられトレッキングコースからアイガー、メンヒ、ユングフラウの名峰を目にした途端に、ああスイスのみんなが夢中になってる登山、いわゆるWandernの魅力ってこれなんだ！と一気にその魅力に目覚めてしまったのです。

というわけで、私も晴れてスイスの山好きの一員となり、母が買ってくれた登山靴でそれ以降もあちこちのトレッキングコースを楽しんだ夏でした。

チューリッヒ日本人会にもたくさんアウトドア愛好家がいらっやあって、今月号の3ページにも、会で企画した「リトム湖お泊り特別計画」の楽しい様子のレポートがあります。ぜひお楽しみください。(MA)



リトム湖

Erinnerung an den Sommer - Lago Litom



チューリッヒ日本人会の公式ツイッターアカウントができました！そして発足した途端にツイッターはX(エックス)と名称変更になりました(笑)。ということは「公式Xアカウント」ということでしょうか？ にはともあれ、会からの情報をリアルタイムで発信していく所存ですので、みなさん@JapanClubZurichをフォローよろしくお願いします。



- 巻頭文
『大谷翔平の数あるエピソードから彼の魅力を探る』 青砥 玄(会長)
- 私のイチオシ、シェアします！
『リトム湖』 向井 茂都子
- スイスの金融事情 Vol.3
『小さな金融大国(3)』 長田 忠雄
- チューリッヒの建築散歩 Vol.30
『bis Zürichhorn チューリッヒ湖沿いのプロムナード』 ロイバー・ユカ
- KETTE(会員の輪) Vol.170
シュトゥーダー・遥香さん(Wald在住)

「大谷翔平の数あるエピソードから彼の魅力を探る」

巻頭文：青砥 玄（会長）

現代の日本人で世界的に有名なスポーツ選手とはいえば大谷翔平（29才）です。投手と打者の「二刀流」で、大リーグのスーパースターに成長した大谷の言動に、世界中のファンが注目しています。インタビューに応えれば冷静沈着に言葉を選び、巨額の収入を得ているが豪遊している様子もありません。大谷翔平のマインドはいかにして育まれたのでしょうか？ とりわけ、明るいニュースが少ない現在の日本にあって、彼のアメリカ大リーグでの破格の活躍は、私たち日本人に大きな喜びと希望を与えてくれています。

「彼の受け答えや態度はいつも完璧で、言葉選びに“失敗”がありません。彼の人のよさにチームメイトやファンも魅了されています。まだ20代なのに達観した印象もあり“聖人”と評する現地記者もいるほどです」というスポーツ紙記者の言葉もあります。「そういった称賛の聲があがる彼の人間性を育んだのは、まぎれもなく彼の母であり家族だった」と、大谷の両親や家族の背景を紹介する女性セブン（5月22日）の記事がありました。時を同じくして私が読んだ本「SHO-TIME大谷翔平・メジャー120年の歴史を変えた男」ジェフ・フレッチャー著の内容にも大いに感銘を受けましたので、それらの内容から彼の人物像について考察してみたいと思います。

大谷マネーの向き合い方

「大谷が2023年の1年間で稼ぐ金額はメジャートップクラスで、日本円にして85億円をゆうに超えるといわれています。今シーズンの年俸約40億円（3000万ドル）に加え、大手企業17社とスポンサー契約も結んでいます」（広告代理店関係者）。その中には当会賛助団体である、興和さんのバンテリンもあります。

トップアスリートを持つ家族の中には、大金に振り回され、結果的に生活のバランスを崩してしまうケースも多々あります。しかし大谷家にその心配は無用のようです。そればかりか家族の“大谷マネー”との向き合い方が、彼の泰然自若の人間性を育んだようだ記事では指摘しています。

大谷が育ったのは岩手県奥州市。東を北上山地、西を奥羽山脈に挟まれた自然豊かな土地で、実家は閑静な住宅街に建てられています。大谷は、社会人野球の選手として活躍した父・徹さんと、バドミントン選手として神奈川県代表に選出されたこともある加代子さんのもとに生まれました。

大谷の両親は「あれをしなさい、これをしなさい」と言ったことはなく、教育方針で気を付けていたのは「自分で決めること」。自分で決めればそこに責任が芽生えるからだそうです。野球を始める時も大谷は父に「野球をやりたい。だから教えて欲しい」と言ってきたのだそうです。

「実は翔平君がまだ日本でプレーしていた時期に、“実家の建て替え”を両親に提案したことがあったんです。翔平君としては親孝行をしたかったのでしょうか。ところが、おじいさんに“両親も元気で家もまだ古いわけでもないんだから、そんなふうにお金を使うもんじゃない。ちゃんと貯めておきなさい”とたしなめられた。その教えは今でも翔平君の心に残っているそうです」（大谷家の知人）。

お金とのつきあい方は、両親も示してきました。学校の修学旅行の際にお金を渡された

大谷は、お土産を買ってきたおつりはきちんと母に返したそうです。

大谷家は昨年、大々的なリフォーム工事を行いました。しかし両親は大谷の「リフォーム代を出したい」という申し出を固辞したといわれています。大谷のプロ入り後は、母の加代子さんが大谷の収入管理を担っていました。息子から目が飛び出るほどの大金を預かりながらも、加代子さんはパート勤務を続けており、その生活は今も全く変わっていないのです。

「ある時、大谷選手が加代子さんに“いつまで働くの？”と聞いたことがあったそうです。すると加代子さんは“あなたに、おんぶに抱っこというわけにはいかないでしょ？”と笑って返したのだとか。父の徹さんも“息子が活躍するようになったからといって、子供に飯を食わせてくれとは言いつらいよ”と冗談めかして話していたことがあります。息子は息子、自分たちは自分たちなりにやっているといるんだから、それで充分ということなんでしょう。大谷選手のお金には、現在も“手出しゼロ”のままだそうです」（スポーツ紙記者）。

さらに、大谷は昔から服には全く関心がなく、今は契約を結んでいるBOSSとニューバランズから贈られたものを着用しているのがほとんどだそうです。

「メジャートップの収入を得ても大金に溺れることがないのは、加代子さんが自ら示してきたマネー教育があってこそだと思います。その教育がインタビューなどで見せる、あの落ち着きにもつながっているように感じます」（スポーツ紙記者）。

今シーズン終了後には大型契約での移籍も噂されています。金額がいくら跳ね上がろうとも、大谷家のお金に対する姿勢と家族の心のつながりは、変わることはなさそうです。

人生行動目標シート作成

大谷は18歳の頃に人生行動目標シートを作成し、年齢順にそれぞれの目標を記載していました。当時の大目標は「8球団からドラフト1位の指名を受ける」でした。それを縦・横3×3のマス目の中央に置き、その目標を叶えるために必要な要素を周囲の8マスに書き込んでいます。「体づくり」「コントロール」「160km/h」という野球に関するものばかりでなく、「メンタル」「人間性」「運」なども要素に取り入れています。そしてその8要素を3×3のマス目の中心に書いて、それぞれの要素を達成するために必要と思われることを周囲のマスに書いています。この作業を通して、大目標にどうすればたどり着けるかが、72のアクションとして具体的になってゆきます。その中には「運」や「人間性」を高めるための行動が記載されています。「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋そうじ」に始まり、「道具を大切に使う」「本を読む」「感謝」「礼儀」が大きな文字で「悔いのない人生に」「俺の人生を野球に」「俺がやらなくて誰がやる！」と自筆で大書されています。

若い頃に抱いた夢を持ち続けるというのは並大抵のことではありません。この目標シートの役割は、大きな目標に到達するために、詳細かつ具体的に毎日実行できる小さな目標に細分化することだったのでしょうか。そうやって成功までの道筋（長期戦略）を、彼は若い

頃からしっかりと見据えていたのです。

アメリカでの経験

彼は2018年シーズンから渡米し、最初の10週間は二刀流で素晴らしい実績を残し、100年前のペイブルースの再来と騒がれたのですが、2度の手術と試合における落胆で、スランプが3年間続きました。2021年始めにエンジェルスのマドン監督は、今まで大谷を守る為に敷いてきた数々の制約がこの男を苦しめていると気づき、この男は制約を少なくすればするほど輝きを増すと確信したと言います。「あいつは非常に内省的で、とにかく試合に出ることが大好きな青年なんだ。だったらやりたいようにやらせてやろう。ひたすらベースボールを謳歌させるんだ」。その結果2021年、大谷は最高のシーズンを送りアメリカンリーグ年間最優秀選手賞だけでなく、コミッショナー特別賞と、MLB選手会による年間最優秀選手賞も獲得しました。監督の「ベースボールを謳歌する」という言葉の通り、人生をかける情熱、体格、環境、指導者などに恵まれ、大谷は素晴らしい偉業を成し遂げ続けています。

大谷の魅力を考察する

大谷は2021年オールスターゲームに出場した際、事前に開催されたホームラン競争にも参加。一回戦で敗退したものの、参加金15万ドル（約1650万円）を取得しましたが、彼はその全額を、お世話になっている球団のトレーナー、クラブハウス職員、広報等裏方スタッフ約30人に寄付したのです。一人当たり5千ドル（約55万円）にもなるこの行為に、米メディアは「野球選手だけでなく、人間として異常なほど素晴らしい」と称賛の聲が多くあがりました。

私は、今日の大谷を作りあげたその背景に、まずは家庭でのご両親の教育があると思います。子供は親の背中を見て育つといわれるように、親の生き方は子供に多大なる影響を与えます。彼が小さい頃にはお父さんと野球の交換日誌を付けていたほど、お父さんは彼の自主性を尊重しながら彼を育てています。そんな青年大谷は10代の頃、自分の人生の目標を明文化し、個人の長期戦略を策定していたのです。その中で彼は精神的・内的な目標の大切さを認識しています。運を呼び込み、人間性・人格を磨くことの重要性です。その為には、トイレ掃除も厭わず、ゴミ拾いもこまめにやりながら、謙虚さと感謝の心を大切にしています。それらの中に、私は日本人が歴史的に築き上げてきた美德、道徳規範を見るのです。それは武士道精神（仁愛、謙虚、思い遣り、知恵、勇気といった倫理道徳原理）や、大和魂（日本民族固有の精神）とも表現されるかもしれません。それらは、江戸時代は寺子屋で、戦前は「修身」として当たり前学校で教育されていた内容でした。しかし戦後GHQにより、そういった日本人の骨髄であった精神性は意図的に根こそぎ抜きとられてしまいました。にもかかわらず、戦後78年の現在、その呪縛から解き放たれた若者が現れ始めている現象をととても嬉しく感じると同時に、日本の未来に対する大いなる希望を感じるのでした。

ご意見・ご質問は青砥まで

gen.aoto@toyota.ch

JCZイベント「リトム湖お泊り特別計画」に参加してきました。このレポートで、この企画の素晴らしさとリトム湖の美しさをお伝えできればと思います。「ハイキングチーム」と「釣りチーム」に分かれて活動はスタートします。私は「釣りチーム」でしたので、「ハイキングチーム」のレポートと一緒に参加した1さんからのものです。

◎ハイキング リトム湖からチーズ工房

朝起きてみると、外は快晴。天候の心配はうれしいことに杞憂に終わりました。私を含め十三人のハイキングチームは元気に歩き始めました。最初は山小屋からリトム湖沿いを歩きます。遠くに見えていた牛の姿とカウベルの音が徐々に大きくなってきます。ところどころ山の斜面にユリの花が咲き、立ち止まるとは写真撮影。弾む気持ちに呼応するように、



おしゃべりの声も弾みます。リトム湖を通り過ぎてカダーニョ湖が見えてきました。群生しているアルペンローゼの赤い花たちが出迎えてくれます。湖の向こうに、何か見えると思ったら、なんと牛舎から出てきた牛たちです。整然と山すそを一列に進んでいきます。おいしい草を食べに行くところです。チーズ工房を見学した後、工房で作ったリコッタチーズをいただきました。テッシーナブロット（パン）の上にリコッタチーズをのせて食べると、口の中いっぱいにおいしさが広がり、疲れが一気に吹き飛びました。



私は、スイスに来てまだ3か月ですが、2000メートル近くのすがすがしい空気とスイスの大自然にふれ、日本人会の方

リトム湖

向井 茂都子 さん



との出会いや楽しいおしゃべりを通して「スイスに来てよかった」と改めて感じました。(1)

◎釣り カダーニョ湖

ハイキングチーム同様、山小屋からカダーニョ湖を目指しリトム湖沿いを歩きます。小中学生が多い釣りチーム。道すがら出会うチョウを魚網で追いかけて、早く釣りがしたいとウズウズしているのが伝わります。カダーニョ湖畔の釣り場に到着すると、そこには天国が広がっていました。万緑の中、真っ赤なアルペンローゼ。青い空。そして湖をはさんで目の前の山の斜面には数えきれないほどの牛。カウベルの大合唱。しばし釣りを忘れその美しさに浸っていました。「オッ！きた！」開始早々Sさん親子が2匹釣ったことを受け、釣りチームはこれに続けと燃え上がります。



美しい自然と釣り人たちの後ろ姿。私にも絵心があれば、この場面を切り取って描くだろうなと思う、そんな景色でした。

今回の旅行を振り返ると、たくさんの素敵なヒト・モノ・コトにあふれていたと感じています。

(ヒト) 参加してまず一番の驚きは主催の岡田さん、加藤さんのオーガナイズ&ボランティア



ア魂。何度も下見を重ね、最適なコースやアクティビティを提供。参加者のさまざまなニーズに応じてくださいました。きめ細やかに参加者に送信されるしおりやお天気情報。また釣りのライセンス申請も一手に引き受けてくださいました。

(モノ) 宿泊は、リトム湖畔の山小屋「RISTORANTE LAGO RITOM」。外には、緑に映える立派な鯉のぼり。こんなスイスの山小屋に!? 日本人の奥様が、日本文化をスイスでも大切にされていると感じました。夕食はポレンタ。黄色ではなくそば粉のような色と風味でとてもおいしかったです。夜は、参加者全員でのキャンプファイヤー（校歌あり懐メロあり）。そして、なによりリトム湖の美しい自然や生き物たちが、私たちの旅行を忘れられないものにしてくれました。



(コト) ハイキングも釣りもスイスらしい、スイスならではの魅力的なアクティビティでした。私たちは1泊2日の日程でしたので、「次に来たときは、〇〇しよう」という思いをもって帰路に着きました。素敵なヒトと素敵なモノが絡み合って、JCZイベント「リトム湖お泊り特別計画」は最高のできごと(体験)となって幕を閉じました。次回秋はキノコや釣った魚を焚火で焼こうかなんて話が出ています。また楽しみゴトが増えました。(向井 茂都子)

大使館関係のお知らせ



○領事手数料のオンライン決済

7月10日から、スイスで旅券をオンライン申請した場合、領事手数料のオンライン決済(クレジット/デビットカード)が可能となりました。その他査証、証明につきましては、現時点では対象ではありません。

また、オンライン決済は旅券をオンラインで申請した場合に利用可能であり、窓口でのお支払いは引き続き現金決済となります。詳細は以下をご覧ください。

■領事手数料のクレジットカードによるオンライン決済について https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/page22_004053.html

○今後の領事出張サービス

2023年9月 ツーク (Klubschule Migros Zug)
日時: 2023年9月21日(木)13:00-14:00
申込締切: 2023年9月5日(火)必着

2023年10月 チューリッヒ (チューリッヒ日本人学校・Uster)
日時: 2023年10月14日(土)10:00-12:00, 13:00-15:00
申込締切: 2023年9月28日(木)必着

○要注意

「海外で短期間に高収入」「簡単な翻訳作業」といった、いわゆる闇バイトの謳い文句に誘われ、海外において特殊詐欺事件のいわゆる「かけ子」や「受け子」として犯罪に加担させられた結果、組織内のトラブルにより暴行を受けるなどの被害や、加害者として現地警察に拘束される事案が多く発生しています。十分慎重に行動してください。

スイスの 金融市場

Vol.3
小さな金融大国(3)
長田 忠雄

資産形成に当たっての最有力商品を提供している国は、世界広しと言えども、私の知る限りスイスを置いて他にないと言っても過言ではないでしょう。税制に関わる様々な優遇措置はもとより、スイス固有の金融商品がプライベートバンクを中心に提供され、資産形成に大きな貢献をしているのです。今回はこの金融商品の一部を少し深掘りしてみます。

身近な金融商品に住宅融資制度があります。日本を始め通常は一定の頭金に加え、取りっぱぐれのないように「元利金の均等返済」を求められるため、長期に渡って呪縛のようにがんじがらめにされて身動きが取れない状況を余儀なくされます。これがスイスでは何と融資期間中の元金返済は求められず、利払いのみで融資を受けられるので、当面の資金負担は極めて軽微で済むという大変ありがたい制度です。途中で物件が値上がりした場合は売却して元金を返済することもできるし、或いは元金部分を他の運用に回して運用益を稼ぐことも出来ます（もちろんこの場合は堅実な投資判断が前提です）。或いは有価証券を担保にしたロンバードローンという制度も、融資資金の使用目的不問で、かつ融資期間の元金返済は必要なく利払いのみですから、融資資金の利用範囲が格段に広がります。

私は金融機関の回し者ではありませんが、長年の受益者としての経験から、一定の投資経験を有して投資判断のできる人にとっては、スイスは世界が羨む金融ユートピアと言えます。スイス固有の投資商品の最たるものが、BRC (Barrier Reverse Convertible) と呼ばれる金融商品ですが、特定の株式を対象にした「エクイティ・リンク債」とも呼ばれます。

専門的になりますが、株式のオプション取引（株式を買う権利 = Call Option や売る権利 = Put Option）において、「売る権利 Put Option」を売って得られるプレミアムを債券の利札（クーポン）に仕立てることによって、通常の利息を遥かに上回る利息を投資収益として得られる債券なのです。当初設定した株価の下限を下回らなければ、債券の元利金（額面 + 利息）が全額償還し、下回ったら当該株式で利金と一緒に償還される（株式が口座に入庫され

る）という商品で、株式配当を遥かに上回る利息が獲得出来ます（通貨、銘柄によっても違いますが、例えば米ドル建ての米株式を対象とするリンク債で年20~30%のクーポン）。同時に、買いたい株を対象に選定できるため、長期投資目的に耐えうる株式を保有するという、従来の株式投資をより進化させた運用が可能になるのです。更にこのクーポン収入は大半の国では利子配当課税対象ですが、この商品ではクーポン構成部分の大半がオプションプレミアム収入のため、スイス税制では売買益と認定されています。したがってクーポンが売買益課税の対象外であることから、実質非課税になるという税制の恩典も受けられるのです。

残念なことに日本で組成販売されたこの商品を日本の金融機関が悪用し、一部の投資家との間でトラブルとなったため、金融庁が販売を自粛する通達を出す事態になっています。日本で販売された商品は仕組債と呼ばれ、本来の商品特性を大きく逸脱した「トンデモ商品」です。例えば本来投資家に帰属すべきクーポンを小さめに設定し、浮いたオプション収益を業者の懐に入れてしまうなど、投資家に不利、業者に優位という商品に仕立てられています。（かつて、日本での銀行の外貨預金の金利設定でも同様なことが行われていたが。）

スイスで販売されている商品は、債券組成の全てに透明度が高く、過大な業者の収益を禁ずるためのルール作りがされています。スイスの金融監督官庁であるFINMAも常に販売を監視しており、銀行内のコンプライアンスも徹底されています。

本来の商品の優位性を理解せず、不適切商品というレッテルを貼ってしまった日本の金融庁にも大きな責任があります。スイスのように適切に組成販売すれば国民の金融資産拡大の起爆剤となったであろうこの商品に、「危険な金融商品」というイメージを植え付けてしまった日本の金融機関に大きな「喝！」です。

私のようにスイスでの年金積立期間が短く、そのまま定年退職した者には年金支給額は極めて限られており、こんな物価高の国での生活は困難を極めます。だからこそ、生活資金のために資産を切り崩すことなく、これら金融商品による大きな投資収益を獲得し、むしろ更に大きく増やすことが可能であることは、スイス在住の我々の特権と言えるでしょう。そのためには投資経験を積み金融経済の知識を身につけることが大前提になります。

(以下次号)

BULLETIN BOARD

再掲（先月号では誤って余計な情報が挿入されておりました事、改めて深くお詫び申し上げます。編集部より）

『日本の歌（童謡と武満徹作品） & 「オペラ座の怪人」より』
グレイ由美（ソプラノ）、竹下数雄（テノール）、岡田直子（ピアノ）
入場無料、Kollekte
・8月27日（日）17:00-18:00
Zunftthaus zur Waag, Münsterhof 8, 8001 Zürich
・9月3日（日）17:00-18:00 Kirche Buchberg(SH) 《竹下》

20周年記念 書道展

主幹 有岡しゅん崖先生
書道研究玄筆会スイス支部 小池田 芳華と24名による書展
有岡しゅん崖先生の作品も展示、てまり作品も会場を彩ります。
会場：在スイス日本国大使館広報文化センター
（ベルン駅からバス21番 Innere Enge）
ヴェルニサージュ：9月23日（土）14時~16時（10時間開館）
9月25日（月）~10月27日（金）の平日のみ
9時~12時15分、13時45分~17時 《ヒルトポルドまさみ》

ベートーベンのチェロとピアノの全作品演奏会・第2回目

9月10日（日）17時
入場無料 コレクテ アペロ有

GlobAS Relocations Europe GmbH

チューリッヒからのお引越はグローバス・リロケーションにお任せを！日本向け、スイス国内及び、スイスから欧州へのお引越、譲渡/転売品の輸送、処分品廃棄等も承っております。お問い合わせの際EDELWEISSを見たお伝えいただければ空港宅配無料クーポン、JAL・ANAマイルプレゼントのご用意等ございます。詳しくはメールにてお問い合わせ下さい！

Email: zurich@globas-relo.com

HP: <http://www.globas-relo.com>

Tel: +49(0)89-189-386-21 (日本語直通) 担当: 三嶋



チェロソナタ 1、4、5番
魔笛の主題による変奏曲 変木長調、へ長調
チェロ・ジュリアン・キルヒエンマン
ピアノ・大橋雅子
Schneckenmannstrasse 8, 8044 Zürich
bei Herrn Richard Irrniger
申し込み: dklmce0511@gmail.com 《大橋》

インタビュー : Sebastian Bohren

2018年にJCZの新年会で演奏下さった、アールガウ州出身のヴァイオリニスト、Sebastian Bohren (セバスティアン ボーレン) さん。あれから益々成長し、今スイスを代表するヴァイオリニストの1人と言っても過言ではありません。国内はもとよりヨーロッパ各地でも多忙な演奏活動をする傍ら、今年9月には地元Bruggにて初めての音楽祭を主催します。元編集部のカンツィアーニがほりがその志に興味を持ち、この音楽祭についてご本人にインタビューしてきました。

一 音楽祭主催の経緯は？



「Strettaという音楽企画グループのオーガナイズで、Bruggの教会では定期的にコンサートをしています。幸いいつも多くの方が聴きにきてくださいます。その上で、更に幅広い年齢層に気軽にクラシック音楽に馴染んでほしいとの思いで一念発起しました。地元の学校とも協力して若い人たちがコンサートに来られるようなシステムも作りました。そうやってクラシック音楽の将来に向けて裾野を広げていくのが業界の今後を支える上で大事だと思っています」

一 演奏活動と音楽祭の企画の同時進行はさぞ大変では？

「クタクタです。初めての経験で試行錯誤の連続です。特に昨今の

物価上昇のせいなのか、すでに様々な協力があるとはいえ、資金集めでは本当に苦労しています。音楽の価値はお金では図れないと常々思うのですが、現実にはそう簡単ではありませんね。

今回の音楽祭の演奏家について

「第1回目の音楽祭を成功させるために、スーパーソリストを集めるよりも自分がよく知っている演奏家とストレスのない仕事をするのが大事と思いました。勿論みんな第一線で活躍している音楽家です」

一 お勧めのコンサートは？

「僕の身近で活躍をしている優秀な音楽家を集めているので全てオススメですが(笑)、1) 7日木曜日夜はウクライナ出身のピアニスト、Konstantin Lifschitzがバッハの有名なゴルトベルク変奏曲を演奏します。彼はこの曲のエキスパートと言っても過言ではないので、期待してください。2) 8日金曜日夜のValentine Michaudはサクソプレーヤー。ロシアの大音楽家グラズーノフが書いた曲ですが、クラシック音楽にサクソの起用はまだ珍しい時代の曲です。3) 4日月曜日のランチコンサートのEdna Unseldeのヴァイオリン。彼女はまだ12歳、でも天才的なテクニックと表現力でびっくりしますよ」。3つの演奏会を紹介してくれましたが、他にも魅力的な演奏家がプログラムに名を連ねます。

「学生時代に日本人の友人もいたし、JCZの新年会でも演奏させていただき、今後も日本人の方たちとの交流を期待しています。皆さんも是非コンサートに来てください。生の音楽を身近なものとして、新たな興奮や驚きを経験して欲しいです」というボーレンさんは、音楽祭期間中に3回演奏をします。未来を見据えて行動を起こす勇気と熱意に打たれました

<https://www.sebastianbohren.ch/>

カンツィアーニがほり



BellinzonaのJapan Matsuri

2023年9月3日 14:15-

BellinzonaのJapan Matsuriで、飛騨のお祭りで舞われる神前の神楽舞が披露されます。舞の師匠と、舞姫たちの神楽舞です。神楽舞は収穫の感謝を込めて神様に奉納される踊りです。演目は『豊栄舞(とよさかのまい)』、『浦安の舞(うらやすのまい)』の2演目です。

チケットのご案内は右記URLよりご覧ください。

https://japanmatsuri.org/2023/?page_id=19304&lang=de



チューリッヒ日本人学校補習校

入学募集説明会 (2024年4月入学)

補習校/小学部・幼稚部・国際部 11:30~12:00

- ・入園・入学予定のお子様とお越しくださって結構です
- ・説明会のあと、20分間の補習校授業参観があります
- ・事前にお申し込みください

申込期限 : 11月10日(金)

申込はこちら:

<https://forms.office.com/e/dEM6DCazja>



2024年度申請受付中

入学募集 (2024年4月入学)

小学部 1年 午前クラス・午後クラス
幼稚部 午前クラス・午後クラス

- ・申請書をお送りください
- ・クラス分けは2024年1月27日に行います
- ・クラスが成立しない場合、ご希望に沿えない場合があります
- ・各クラスとも定員に達し次第、順番待ちとなります
- 2025年度入園・入学申請は、今しばらくお待ちください

幼・小・中・高 教員・代替教員 随時募集

履歴書をお送りください

- ・毎週土曜日 2~4 時間の国語の授業
- ・教員免許状のある方 (どの強化でもかまいません)
- ・塾で教えた経験のある方
- ・労働許可がある方に限ります

問い合わせ先

Japanische Schule (Hoshuko)

TEL : 044-941-1554 電話での問い合わせ : 土曜日

Email : hoshukoz@hotmail.com

HP : www.jszurich.ch

第17回アバンシェ・タトゥーに日本の音楽隊が初参加

日本とスイスの防衛交流として、8月31日~9月2日までの間、ヴォー州アバンシェにて開催されるアバンシェ・タトゥーに航空自衛隊中央音楽隊が初参加します。

平成28年の海上自衛隊パーゼル・タトゥーには日本の海上自衛隊が参加していたそうで、当会理事の1人は「各国の軍隊が登場しましたが、日本の自衛隊の音楽隊は白いユニフォームですっきりとした清潔感と見事な演奏(歩きながら)で、一見の価値ある楽しいショーでした」と教えてくれました。

今回は航空自衛隊ということで、紺の制服姿ですが、やはり格好いいですね!

実はこの企画、昨年開催されたフランス国際軍楽祭2022での演奏を観覧したスイス当局関係者が、「是非、2023年のアバンシェタトゥーに日本の音楽隊を招待したい」と、実現にこぎ着けてくれたのだそうです!

その時の様子やSNSも当会HPよりご覧頂けます。

アバンシェは古代ローマ野外劇場で有名ですが、今回はスイス国立スタッドをスイス軍が音楽祭用に特別に整備して開催されます。Les Longs-Prés 2のその会場までは、Avenches駅より定期的にシャトルバスが送迎してくれるそうです。

各コンサートの他に9月2日には、10時45分から11時30分にマルチンで、14時から15時の間はアバンシェで市中パレードも開催予定です。是非お問い合わせの上、ご体験下さい!



建築散歩
チューリッヒの



Vol.30
Zürichseepromenade
bis Zürichhorn
チューリッヒ湖沿いのプロムナード

スイスの夏は適度に暑くて、湖や川で泳ぐことができるし、比較的涼しくて過ごしやすいので、休暇で他の国に行く人の気が知れない。他の季節に行くならともかく、夏場のイタリア、スペイン、ギリシャなどは最近本当に気温が高くなっていて、旅行に行くにはあまりいい季節だとは言えない。

スイスの夏のイベントといえば、この間4年ぶりに行われた7月初めのチューリッヒフェスティバルの花火大会や、8月1日のスイス建国記念日の花火、そして8月2週目の土曜日には毎年行われているストリートパレードだ。このテクノ音楽のイベントの際、チューリッヒ湖の周りをぐるりとSeefeldの方からRotefabrikまで、DJやたくさんさんのダンサーと巨大なスピーカーを搭載したラブモビル（トレーラー）が大音響で過ぎてゆくとき、ベルビューからBürkliplatzへかかるQuaibrückeは文字通り振動する。音楽に揺られて踊っている群衆の数はいかほどなのか、橋の上にぎゅうぎゅう詰めた人々の、航空写真を見たことがある人ならばお分かりだろう。この橋のたもとがとにかく、人人で溢れている異常事態なわけだが、今年のストリートパレードは12日に行われて、やはりものすごい人だったらしい。

今回の建築散歩では、この湖沿いのプロムナードにまつわる話を考えながら、Bürkliplatzの広場からベルビューへ渡り、オペラ座の前の広場をかすめ、チューリッヒホルンの先まで歩いて、去年リオープンした大きな茅葺三角屋根のFischerstubeとチャイナガーデン、そしてBellerive Museumなどを歩いてみたい。

まずは少しだけ、このチューリッヒの湖沿いの歴史を振り返ってみる。1860年代の地図①と現在の地図とを見比べると一目瞭然だが、昔はチューリッヒ湖がリマツ川にそぞぐ河の始まりが三角に大きく開かれていて、その左右の湖畔の境界線はでこぼこで、Quaibrückeも存在しなかった。この湖沿いのプロムナードが一体化した計画は、当時チューリッヒの都市計画のマイスターであったArnold Bürkli②の功績による。鉄道エンジニア出身の彼は、26歳の若さでこの要職につき、1882-87年にこの湖周りのQuaianlage (Quaibrückeを含む)



を提案して、計画、建設した。凸凹していた岸を埋め立てて、綺麗に直線的につながり、UtoquaiからGeneral-Guisan-Quaiへ、そしてMythenquaiへとひとつづきにつながる人と車のための道路を敷いた。

他にもビュルクリは当時流行していたコレラ感染症の対策として、上下水道を整備し、街の区画に間隔をより多くとって計画するなど、チューリッヒの街の近代化に大いに貢献した人物である。そのため、グラールスの青い山脈を背景に湖が広がるこの絶景の場所に、彼の名前のついた広場があるのもうなずける。

さて、ビュルクリプラッツから歩いてベルビューまで広い橋を渡り、十分に山のパノラマを堪能した後、オペラハウス前の広場で噴水に戯れる子供や、カフェテラスでお茶する人々を横目に、Utoquaiの白く塗られた木製の遊泳場を目指す。夏場のここは老若男女の格好の社交の場でもある。右手に湖を見ながら、緑の並木道を歩いていくと、左手にやがてBellerive Museum③の綺麗な庭と瀟洒なヴィラの建物が見えてくる。この美術館では以前、よくアートやテキスタイルの展示会を展示していたが、2018年に建築の美術館として新

しく開館した。現在ここではLandschaftstadt Zürich と題した、チューリッヒ市の緑の景観についての展示会が開催されている。

この辺りの湖沿いの公園が現在のような姿になったのは、第二次世界大戦前の1939年に行われたLandesausstellung (国展) ④によるところが大きい。この国展の会期中は、Mythenquaiからここまでロープウェイで湖を渡れたらしい。このあたりには当時、展示場の建物がいくつか建設された。

Fischerstube⑤もその一つで、これは<漁師のお食事どころ>とでも訳せば良いのか、この展示会用にできた夏場専用のレストランだった。湖に長い杭を打って土台を造った、湖に浮かぶような木造の建物は、いかにも観光客が好きそうな外観。この古い建物は老朽化のため、そして新しい湖の憩いの場としてコロナの時期に、ベルン出身の建築家によって非常に珍しい木造、茅葺の建築となって去年生まれ変わった。大きな屋根の勾配にも圧倒されるが、中に入って、あっと驚く高い天井には、幾何学で構成された木造の半球のドームがあり、どこかアラビア風でもある。空間内部にいと、特に美しい木造天井からつりさがる幾つものランプと三方に広がる湖のパノラマの景色に目を奪われる。ランチやディナーは予約なしでは入れないので、チューリッヒの新しい観光名所になっていることは確かである。今回の散歩では、休日の午後遅くにお茶するには格好の場所だった。



休憩して建物空間をすっかり堪能した後は、すぐ外にある小さな池と緑の公園を見て (これも国展やその後1959年に行われたガーデン展示会の名残か)、今度はChina Garten⑥へ。この場所には、多少いつかわしくない、非常に中国的な朱色とベージュの瓦屋根の塀の真ん中についている仰々しい門をくぐると、そこには静かな池と中国風の回遊式庭園が広がっている。Kummning (中国の南西部、昆明市) からチューリッヒ市への贈り物であるというこの庭園は、1993年に建設されて、しばらく前までは入場料金を取っていたが、この街では珍しく今現在は無料で公開されている。紅白の鯉の泳ぐ池は静かで、ちょっとしたアジア情緒に浸れる、静かで緑の多い空間である。



帰り道は、また湖沿いをゆっくりとベルビュー目指して戻りながら、ゆったりとした日曜日の夏の午後を楽しんだ。

©2013 Yuka Räuber



- 1 Bürkliplatz
- 2 Bellevue
- 3 Seebad Utoquai
- 4 Bellerive Museum
- 5 Fischerstube
- Zürich horn
- 6 Chinagarten

①チューリッヒの地図はStadt Historische Karteとgoogleで探せば、Stadt-Zürich.ch/geodatenのサイトで見れます。

② Arnold Bürkliは19世紀終わりの、チューリッヒ市の都市計画の長だった。Quaiとはスイスドイツ語でUferstrasseという意味で、日本語では湖沿いの道と訳せる。

③ zaz-bellerive.ch

④ Landesausstellung 1939年に開催された展示会。以下のサイトで当時の様子のビデオが見れます。

<https://blog.nationalmuseum.ch/2019/05/die-zuercher-land/>

⑤ Fisherstubeは1939年に国展のために建築家Kündig とOetikerにより建設された。改築はPatrik ThurstonというBernの建築家が計画した。

⑥ stadt-zürich.chのサイトでChina Gartenと検索すると、詳しい説明があります。



URLの詳細は、www.japanswiss.ch
「チューリッヒ近郊お出かけ情報」をご覧ください。

JCZ9月イベント

~Wine & Hike @ Weinfelden ~

Weinfeldenの広大なワイン畑を、ワインを楽しみながらハイキングしませんか？

コースは約9km(2-3時間)、ワイングラスを片手にWine Safeと呼ばれるテイスティングスポットを目指してハイキングします。グラスは現地支給なので手ぶらで参加OK！

興味がある方は9月3日までに石村か、高木までご連絡下さい。

日時: 9月16日(土) 11時頃予定

場所: Weinfelden (Zurich HBから電車で約50分)

参加費: 25Fr. (ワイン、グラス、水、スナック込み)

Website: <https://thurgau-bodensee.ch/en/home/stories/wine-walk-with-wide-views.html>

問い合わせ: 石村(momo10981@gmail.com)

高木(mtlcdc3@live.jp)



アフタヌーンカフェのお知らせ

今年の夏はいかがお過ごしでしたか。夏休みも終わって、すっかりいつもの日常のペースに戻っている頃でしょうか。いつものようにJelmoliのカフェで会いましょう。

日時: 9月14日(木) 14:00~16:00

場所: チューリッヒJelmoli 3Fのレストラン

申込: JCZ HPイベント申込フォームより

またはメールにて kikaku@japanswiss.chまで



JCZ後援

第12回 東北支援バザーと喫茶 team104

2011年の東日本大震災で親を失った児童はまだ支援を必要としています。team104では第12回喫茶とバザーの会を催し、売り上げと寄付全額を宮城・福島・岩手県の子供・青少年課に寄付致します。和の食器・雑貨、着物の蚕の市の他、メンバー手作りの和菓子・軽食を販売し喫茶室で召し上がって頂けます。数多くの方々のご支援に感謝し、皆様のおいでをお待ちしています。



日時: 2023年9月24日(日) 11~16時

会場: Gemeindestrasse 19, 8032 Zürich

(トラム3番Hottingerplatz, バス31番Sprecherstrasse)

ご寄付・お問い合わせ: 池田 seiundo@bluewin.ch

事務局からのお知らせ

Herbst in der Helferei
St.Peter教会でのコンサートに
ペアでご招待！

来る9月18日~23日、チューリッヒで恒例の秋のコンサート週間 Herbst in der Helfereiが催されます。世界的マンドリン奏者 Avi Avital、スイスのカリスマピアニスト Oliver Schnyder、JCZの新年会でも華麗な演奏を披露された Sebastian Bohren氏など、今年も豪華な顔ぶれです。

月曜日には Opernhaus のコンサートマスターや Tonhalle 首席チェロ奏者と、こちらも新年会で弾いてくれた若手音楽家たちとの競演、金曜日には JCZ 会員の坪井悠佳さんが所属する Galatea Quartett とフィンランドのジャズピアニスト Rantala とのコラボも。他にもクラシックに留まらない個性的なコンサートが目白押しなので、秋の始まりに様々な音楽を楽しんでみてはいかがでしょうか。

【Lange Nacht der Zürcher Museen】 www.langenacht-zuerich.ch
9月2日(土) 18:00 - 01:00

Museum Haus Konstruktiv,
Museum Rietberg, Schweizerisches Nationalmuseum
Kunsthalle Zürich (Limmatstrasse 270 8005 Zürich) - 02:00

【MTMT・Ensemble Abend 2023】

9月5日(火) 19:30

津田理子(ピアノ)、ユディット・シュミット(メゾソプラノ)
Tonhalle Claridenstrasse 7 8002 Zürich
<http://michiko-tsuda.com/event/mtmt-ensemble-abend-2023/>

【SWISS ART EXPO 2023】 <https://www.swissartexpo.com/en>

9月6~10日 チューリッヒ中央駅SBB Event Hall Zurich

【KIMONO (Kyoto to Catwalk)】

9月8日 10:00 Museum Rietberg Zürich

Gablerstrasse 15 8002 Zürich



【Knabenschiessen】

9月9日10:00~11日23:00 Uetlibergstrasse 341 8045 Zürich

<https://www.knabenschiessen.ch/>

【デジタルフェスティバル2023】 <https://digitalfestival.ch/>

9月15~17日 Halle 550 Birchstrasse 150 8050 Zürich

【Herbst in der Helferei】 <https://www.herbst-helferei.ch/>

9月18日~23日 St.Peter教会

【第17回Züri-Wiesn (オクトーバーフェスト)】

9月21日~10月14日 チューリッヒ中央駅

Haupthalle Bahnhofplatz 8001 Zürich



【Kulturnacht Winterthur】

9月23日(土) 18:00・24:00 16の文化施設にて

<http://www.kulturnachtwinterthur.ch>

【チューリッヒ映画祭】 <https://zff.com>

9月28日~10月8日

【チューリッヒ歌劇場】

www.opernhaus.ch

* オープニングデー

9月16日(土) 10時~20時

* プッチーニ作曲《つばめ》

9月17、20、24日、10月1、8、13、18、21、28日 **最注目!**

* ロッシーニ作曲《イタリアのトルコ人》

9月19、22、26、30日、10月3日

【トーンハレ管弦楽団】 <https://tonhalle-orchester.ch>

* 9月13~15日 シーズンオープニング ヤルヴィ指揮、キアン・

ソルターニ(チェロ) ブラームス、ブルックナー

* 9月20・21日

ヤルヴィ指揮、オリ・ムストネン(ピアノ) ベートーヴェン

* 9月25日

ヨアフ・レヴァノン ピアノリサイタル

一聴の価値あり

* 9月30日(土) 19:00 国際映画音楽コンクール

今月の最注目!

詳しいプログラム・出演者は以下のHPから確認できます。
<https://www.herbst-helferei.ch/>

* 9月20日(水)と21日(木)のガラコンサートに、JCZ会員様それぞれペア1組をご招待いたします。ご興味のある方は、9月10日(日)までに、メールで kikaku@japanswiss.ch までお申込みください(希望の曜日を明記要)。後日抽選後、当選者の方のみ、ご連絡さしあげます。

シュトゥーター・遥香さん

(Wald 在住)

現在の仕事

産業用フィルムを製造する日本の会社「きもと」のスイス支社で働いています。主な業務は日本への注文と、ヨーロッパのお客様からの注文対応です。今年の6月からは、三重工場付近の田んぼで栽培しているコシヒカリ米を、スイスで販売し始めました。たくさんの方々の支えのおかげで、既に多くのお米をスイス国内にお届けすることができました。サポートして下さった方々、そしてご注文いただいた皆様にお礼申し上げます。

出身

スイスに来る前は、生まれてからずっと東京都大田区で暮らしていました。大田区といっても品川区寄りの方で、山手線だと五反田駅の近くです。そこから三両編成の池上線に揺られて数駅先に実家があります。

スイスに来る前

大学ではドイツ語学を専攻しており、ドイツのテュービンゲン大学に1年間の留学も経験しました。卒業後は2年間、自動車部品会社の海外事業管理部での仕事に従事し、2021年4月にスイス人の旦那との結婚を機にスイスへ引っ越してきました。

住んでいる場所

Waldに住んでいます。分からない方にはRapperswilの近くと説明しています。AtzmännigのハイキングやOberholzのスキー場が有名らしいですが、2年半住んでも一度も行ったことがありません。

今ハマっていること

ズバリ食事と料理です。美味しいものを食べることが3度の飯よりも好き(?)だと言っても過言ではありません。レストランにもよく行きますし、(チューリッヒでおすすめのレストラン情報をお待ちしております)家では和食を中心に色々作ります。最初は日本とは異なるスーパーの品揃えにショックを受けましたが、最近は代わりの食材を試したり工夫したりしながら料理を楽しんでいます。

私が最近ハマっているレシピは生のコーラルピ(大根でも可)をマヨネーズと塩昆布、胡麻油で味付けしたサラダです。マヨネーズx胡麻油という最強の組み合わせを見つけてしまいました。「手に入らないものは諦めるか、どうにかして手に入れる」という考えから、牛タンの捌き方も習得しました。私の食事への情熱に圧倒された友人からは、「10年後にはスイスで鮭を養殖してそうだね」と言われてしまいました。



私流のスイス人攻略法

スイス人とは仲良くなるのが難しい、とよく聞きます。私も最初は同じ悩みを持っていましたが、日本食を通じて彼らと距離を縮めることができました。

これから私のスイスでの和食外交についてお話しします。まずスイス人に日本食を作るから食べに来てと声をかけると、日本人の作った本格的な食事が食べられることをとても喜んでくれます。そして当日、日本の料理がたくさん並んだ食卓を目の前にすると、自然と日本に関する話題で盛り上がるのは必然です。まずは日本食について話し始め、それから日本に関する話題、

そして私自身に関する話題などが会話が進んでいきます。自分が会話の中心となることから相手は私を気にかけてスイスドイツ語ではなく、標準ドイツ語などの自分の理解できる言語で話してくれます。様々な会話を通して自然と距離が縮まっていきます。

このことから、私は海外で日本人として和食を振る舞えることを強みとして、お近づきになりたいスイス人を和食で釣って家にお招きするようになりました(笑)。

有難いことに和食は既に海外で知名度が高く、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。食事は誰もが毎日することなので、個々の趣味など関係なく盛り上がりやすいテーマでもあります。このような意味で私たち日本人はとても恵まれているのではないかと感じています。今年からアメリカの大学に進学する弟には日本にいるうちにお好み焼きとカレー、親子丼は最低限作れるようになることを勧めています。どれもあまりクセがなく、日本食初心者の人にも食べやすい味つけで、ある程度の日本食材があれば簡単に作れるからです。料理が得意であれば、例えば一緒に日本食レストランに行ったり和食の紹介をしてみたり、家で一緒に料理本を見ながら日本食を作ってみたりするのも一つの方法です。日本にいるとき、日本食は日本文化の一つとしてしか見ていませんでしたが、スイスでの生活の中でその新しい魅力に気がつくきました。

会員へのメッセージ

私たちが販売している三重県産コシヒカリ無洗米ですが、「美味しい」と多くのお客様から好評です。炊き立てはピカピカと光っており、お米の旨みがあります。冷めても美味しいのでおにぎりやお弁当にぴったりです。お米が美味しいと、ついついお箸が進んでしまうので食べ過ぎ注意です!(笑)

1袋あたり2kg、21CHF(送料別)で、3袋ご注文いただいた場合は63CHFで送料無料になります。割引価格で購入いただける14袋のセットもございます。今回、会員お1人様1度だけご注文時に「会報誌を読んだ」と一言添えていただければ、1袋あたり20CHF(3袋セットのみ)で販売させていただきます。(10月末まで有効)詳細は私まで直接ご連絡ください。
h.stud@kimoto.ch (076 417 71 44)

編集後記

夏の終わりの陽射しは、一抹の寂しさを感じさせます。確実に日が短くなっている事を否応なしに思い出させられるし、寒い冬の到来に身構えてしまうからかも知れません。

そんな時は秋の収穫物を食べて元気をもらいましょう! 松茸、しいたけ、トリュフ、プラム(Zwetschgen)...

私が毎年いちばん楽しみにしているのは、9月末頃から出始めるみかんSatsuma!

スペイン産ですが、日本のみかんに並ぶ美味しさ。バラ売りを1つ1つ物色して、まん丸ではない少し平たいもので、皮がツルツルしている物を選ぶのがお勧め。約1ヶ月が過ぎると他のMandarinに置き換わってしまうので、シールの名前をご確認下さい。

そんなわけで、ワインツアーも秋の恵みです。奮ってご参加下さい!
(SN)

広告掲載のご案内

チューリッヒ日本人会 Japan Club Zurichでは、会員の方からのお知らせ・広告の掲載、フライヤー等の会報同封送を、有料(一部無料)で随時受け付けております。詳細については編集部までお気軽にお問い合わせください。

伝言板コーナーをご利用ください

200文字以内のお知らせ・ご案内は無料で掲載いたします。掲載内容責任者のお名前(会員に限る)を入れた原稿を毎月10日までに編集部にてメールにてお送りください。

●JCZでは広告・フライヤー・伝言板の記載情報については責任を負いかねます。

JCZ会報誌エーデルワイス 2023年9月号

発行責任者: 青砥 玄(会長)
編集: 中 東生 阿部 牧子
ポツツィーニ直美

●編集部専用メールアドレス●
edelweiss@japanswiss.ch

チューリッヒ日本人会
JCZ Japan Club Zurich
Office of Honorary Consul
General of Japan
Utoquai 55, 8008 Zürich
www.japanswiss.ch
jcز@japanswiss.ch

